



東日本大震災で被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

最新マンスリーecoニュース&トピックス

・最近のニュース

環境省は総額8074億円—政府3次補正予算案を閣議決定—  
一災廃処理対策に3985億円 復興交付金1兆5612億円に2011.10.26/環境新聞

政府は10月21日、東日本大震災・原子力災害からの本格復興を図るため、総額12兆1025億円に上る今年度第3次補正予算案を閣議決定した。主な環境関係では、環境省が今年度当初予算の約4倍に当たる総額8074億円を計上、そのうち災害廃棄物処理促進対策に3985億円、除染や汚染廃棄物の処理など放射性物質の除去対策に2459億円を充てている。

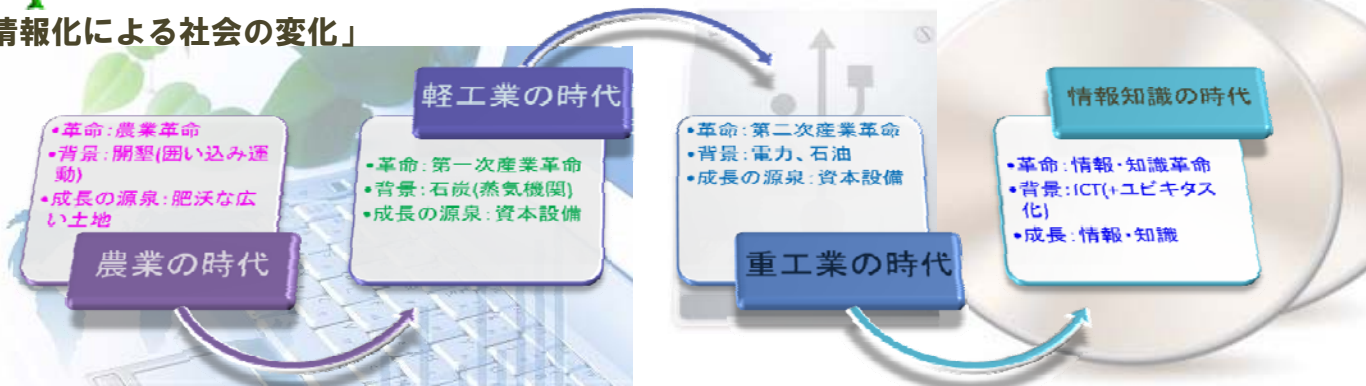
環境法改正情報

■埼玉県生活環境保全条例施行規則の一部を改正する規則の改正

産業廃棄物の多量排出事業者(廃棄物処理法に基づく計画書、実施状況報告書の提出を行う事業者を除く)は、廃棄物の減量等の処理計画とその実施状況報告を、毎年6月30日までに、県又は保健所を設置する市に提出が義務づけられているが、この改正は、処理計画の記載事項が変更された事、処理計画とその実施状況報告が普通産業廃棄物と特別管理産業廃棄物とで分けることとなった。

Ecobiz/ecolife エコビズ/エコライフ いまさら聞けない? 教えて! 「廃棄物業者と情報化」 Series.1

「情報化による社会の変化」



1990年代にWWW(World Wide Web)の開発やMicrosoft社によるインターネットブラウザの開発、その後のインフラの整備が加速的に進み、日本においてインターネット普及率は総務省発表「情報通信白書」では1997年1,155万人だったのに対し、2009年末では9,408万人まで到達しています。また、携帯電話においては、2010年6月末現在1,137,1万台と、日本人口のほぼ9割にまで普及しています。「農業の時代」から「工業の時代」へ、そして「情報・知識の時代」といった大きな社会の変化の中にある現在。企業における情報活用とサービスの共有化について、次号では触れてみたいと思います。

営業に役立つ 【ユビキタス】 環境用語と豆知識

それが何であるかを意識せず(見えず)、しかも「いつでも、どこでも、だれでも」が恩恵を受けることができるインターネットフェース、環境、技術のことである。ユビキタスは、色々な分野に関係するため、『ユビキタスコンピューティング』、『ユビキタス社会』のように言葉を連ねて使うことが多い。

走れ! エコ エイトマン

Try for tomorrow 「明日の地球の為に、今できること」

お客様のために常にお役に立ちたい...そんな思いを大切にするエイトマンを毎号ご紹介いたします。

■管理部 甲斐 仁志 氏



管理部の甲斐です

私の信条は、「艱難汝を玉にす」です。日々の業務では、富士登山で実感した一歩ずつでも、歩幅はせまくても、とにかく進むことを止めなければ、事はなるという体験を忘れないようにしています。まだ、未熟ですが、いずれは、歩く六法全書といわれるように頑張ります。

罰則と判例

国の補助金1億1千万円不正受給の疑い

2011.10.26/TBS

京都市の産廃処理会社の元社長ら2人が逮捕された。京都府警によると、生ゴミを微生物などで分解してメタンガス燃料にするプラントを完成させたとして、環境省から廃棄物処理施設における温暖化対策事業の補助金1億1000万円を受給した。しかし、その際、別の工場の写真を添付するなど、うその内容で申請していた。